

7. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで、29コースの公開研修を計画しています。以下はお申込み期限が近づいている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QRコード※または下記URLから当社ホームページをご覧ください。なお、研修にお越しの際は、マスクを着用されるとともに、敦賀総合研修センターの新型コロナウイルス感染防止対策に従っていただきますようお願いいたします。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html

| 研修名 | 研修概要 | 研修期間 | 申込期限 |
|---------------|--|--------------------------------|-------------|
| 原子力入門コース | 原子炉での核分裂など原子力発電の基本的原理を理解するとともに、原子力発電所で使われる代表的な機械設備と電気設備の概要などを学びます。核分裂や連鎖反応など、原子力発電の概念を学びたい方にお薦めします。 | 2022年1月18,19日 | 2021年12月9日 |
| 原子力エネルギーコース | エネルギー資源を海外に頼っている我が国の現状を理解し、福島第一原子力発電所の事故後の地球温暖化への対応を含めた我が国のエネルギー政策について学びます。 | 2022年1月20日 | 2021年12月10日 |
| ヒューマンファクターコース | 人はエラーを避けられません。人間の特性を知り、仕事の中でのエラーを防ぐ対策を講じることが大切です。本研修では、人間の基本特性や集団特性などを理解するとともに、現場作業時のヒューマンエラー(人に起因する誤り)の防止方法を学びます。ヒューマンエラーの防止方法を学ぶことは有益なことであり、広く一般の方にお薦めします。 ※2日間コースですが、1日単位の受講も可能です。 | 2022年1月24日(基礎) 1月25日(管理・事例) | 2021年12月5日 |
| 安全文化コース | 原子力産業界が取り組んでいる安全確保を最優先とする安全文化の醸成について、企業倫理・技術技術者倫理や不祥事・トラブル事例などを題材として学びます。原子力利用に携わるすべての組織の方はもちろんのこと、企業による不祥事やトラブル事例が後を絶たない昨今の国内外事情に鑑みて、一般の方への受講もお薦めします。 | 2022年1月26日(午後), 27日 | 2021年12月17日 |

公開研修に関するお申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター(敦賀市沓見165号9番地6)
電話:0770-21-9700 FAX:0770-21-9726(応募申込専用)
メールアドレス:tsuruga-tr-center@japc.co.jp



げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ



◀こちらからげんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

◆三谷 啓 楽楽展Ⅶ 11月30日(火)~12月5日(日) 最終日は16:00まで
2年ぶりの開催、そして今回で最後の個展になる三谷 啓 様による絵画展です。水彩、パステル、アクリルで描かれた風景画、静物画40点を展示中です。



◆鈴木 裕美 越前己書道場 己書作品展 12月14日(火)~12月19日(日) 最終日は15:00まで
鈴木 裕美 越前己書道場(代表:鈴木 裕美 様)の11名の皆さまによる作品展です。筆ペンで自由な感覚で描く己書の作品約100点を展示予定です。

◆2021 福井県小・中学生科学アカデミー賞優秀作品展 敦賀展 12月21日(火)~2022年1月9日(日)
今年で28回目を迎える福井県内の小・中学生の理科研究を審査する科学アカデミー賞(主催:福井新聞社)に寄せられた作品の中から、上位入賞した研究作品約18点を展示予定です。



2022年度のギャラリー展示利用申込みの受付を行います
受付期間:2022年1月17日(月)~23日(日) 10:00~16:00
ご利用の案内、申込用紙などは当社ホームページからダウンロードできます。詳細は下記までお問合せください。

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00~16:30※ 休館日 12月29日~1月3日
※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。
http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/fureai.html



げんでんふれあい広場 開催のお知らせ

お待ちしております!

地域の皆さまに、当社の概要や敦賀発電所運営状況などをご紹介する「げんでんふれあい広場」を下記のとおり開催します。お気軽にお立ち寄りください。

開催日時:12月4日(土) 10:00~17:00
12月5日(日) 10:00~16:30
場所:MEGA ドン・キホーテ UNY 敦賀店 1階フードコート前
内容:敦賀発電所紹介・放射線の性質などのパネル展示、クイズ・アンケート(ご参加の皆さまに粗品進呈!),発電所見学VR、放射線測定体験 など



本資料の作成元:お問合せ先:日本原子力発電株式会社(略称:げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL:0770-25-5713 住所:敦賀市本町2-9-16



げんでん いんぷおめーしよん 12月号

2021年12月3日

No.208

1. 敦賀発電所の状況(2021年12月3日現在)

| プラント(炉型) | 状況 |
|---|--|
| 1号機(沸騰水型) | ●2017年5月15日より廃止措置工事中(廃止措置期間:24年) ○2015年4月 営業運転終了 ○第4回定期事業者検査(2021年4月1日~11月24日) 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。 |
| 2号機(加圧水型) | 電気出力116.0万kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量1922億9908.3万kWh ●2011年8月29日~ 第18回定期検査中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規規制基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。 |
| = 敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について = | |
| 原子力規制委員会による審査は、現在、敷地内破砕帯評価と地震動評価(地震の揺れ)の二つの論点について進められています。 昨年2月の敷地内破砕帯評価に関する審査会合において、敷地北側にある断層(K断層)と2号機原子炉建屋の直下にある破砕帯との関連性について当社から説明したところ、審査資料に当初記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データとなる顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのご指摘を受けました。 ご指摘を受けた件については、審査とは別に品質保証に係る検査として確認していただくことで、審査を継続していただいておりますが、8月18日に開催された原子力規制委員会において、調査データに基づく当社の評価結果の信頼性が確認されるために必要な業務プロセスの構築が確認されるまでの間は、審査会合を実施しないという方針が示されました。 当社は、原子力規制委員会の決定を重く受け止めるとともに、審査の進展を期待していただいている地域の皆さまに多大なるご心配をおかけしていることを、心より深くお詫び申し上げます。 業務プロセス構築の取組み状況は、その後の検査においてご確認していただいております。10月26日に開催された公開会合では、社内規程の見直しに加え、新たな規程を制定することとし、それらに基づいた審査資料を提出できるよう進める旨をご説明しました。 11月2日の原子力規制委員会において、原子力規制庁から今後の進め方として、当社が社内規程改正などの改善活動を終了し、審査資料の準備ができた段階で再度検査し、検査結果を規制委員会に報告することが示されました。当社といたしましては、確実な業務プロセスの構築作業を進め、改善された業務プロセスに基づき、品質が確保された審査資料を提出できるよう真摯に検査に取り組んでまいります。 | |

2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況(2021年12月3日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



敦賀発電所全体配置図

建設予定地の状況(2021年11月25日撮影)

3. トピックス

(1) 敦賀発電所 自衛消防隊操法大会を開催

10月27日、敦賀発電所構内において「第37回 敦賀発電所自衛消防隊操法大会」を開催しました。当社、関係会社および協力会社の自衛消防隊8チーム（1チーム4名）が参加し、日ごろの消防操法訓練の成果を競いました。今後も、敦賀発電所における自衛消防隊の更なる技能向上を図り、防火活動に取り組んでまいります。



自衛消防隊 整列！

火点（標的）に向かって前進！

放水開始！

(2) 福井県原子力総合防災訓練 住民説明会に当社 OB が協力

10月29、30日、福井県は、関西電力（株）美浜発電所を発災とした福井県原子力総合防災訓練を実施しました。その一環として、県内の住民避難所などにおいて防災に係る住民説明会を10月30日に実施しました。

説明会の運営を請け負った（株）千代田テクノルは当社 OB を講師とし、「放射線防護のために必要な基礎知識・原子力災害発生時にとるべき行動について」をテーマとした講義と、測定器を用いて車両や衣服、身体表面の放射性物質を測定するスクリーニングの実習を行いました。

当社 OB は、これまでの知識と経験を活かし、地域防災の取組みに協力しています。



敦賀市立体育館での説明会の様子

写真上：当社 OB による講義
写真左：スクリーニング実習

測定器

4. 次世代層への教育支援活動

(1) 池田町児童館において出前授業を実施

「出前授業」は、次世代層に科学やエネルギーに興味をもってもらうため、福井県内の小中学生を対象に当社社員が理科の授業のお手伝いをする活動です。11月1日、池田町児童館において「電流イライラ棒」の授業を行いました。

電流イライラ棒は電気を通した針金に金属の輪が触れるとブザーが鳴る仕組みで、参加した児童の皆さんは池田町産の木材を使って工作し、完成したイライラ棒で「輪くぐり」を楽しみながら電気回路について学習しました。当社は、これからも楽しみながら科学やエネルギーを学ぶ場を提供してまいります。



イライラ棒をつくってみよう

ブザーを鳴らさず輪くぐりできるかな？
（針金に輪が触れるとブザーが鳴ります）

(2) 福井県立敦賀高等学校へのエネルギー研修を実施

敦賀総合研修センターは、文部科学省の環境・エネルギー教育支援事業に採択された福井県立敦賀高等学校からの協力依頼を受け、11月2日に1年生2クラスの生徒の皆さんにエネルギー研修を行いました。研修では、世界のエネルギー情勢や環境問題について学ぶ「原子力エネルギー基礎研修」、模型や教育用シミュレータを用いて発電所のしくみと安全性を学ぶ「発電所設備研修」、放射線についての基礎的な説明に加え、身のまわりの放射線を測定し放射線の理解を深める「放射線計測研修」の講義や実習を行いました。生徒の皆さんからは「中性子の量を調整する制御棒は何で作られているのか」「原子力災害が起こったときに安定ヨウ素剤を服用するのはなぜか」などの質問があり、熱心に受講していただきました。当社は、これからも次世代層への環境・エネルギー教育について様々な協力を行ってまいります。



原子力発電所の仕組みと安全性の研修
「教育用シミュレータを用いた説明」

原子力発電所の仕組みと安全性の研修
「燃料集合体の模型を用いた説明」

放射線についての研修
「放射線測定器を用いた計測実習」

5. コミュニケーション活動

・げんでんアドバイザー、げんでんネクサス 発電所見学会を実施

10月25日、げんでんアドバイザー^{※1} および11月17日、げんでんネクサス^{※2}の敦賀発電所見学会を実施しました。

現在、新型コロナウイルス感染症予防対策のため敦賀発電所1号機、2号機の現場への立入りができないため、今回は、破砕帯調査現場、敦賀発電所3,4号機建設予定地をご見学いただきました。

ご参加の皆さまからは、「普段、見られない場所を見学できてよかった」「実際に現場を見ると理解が深まる」「見学会の機会を増やしてほしい」といったご意見をいただきました。



敦賀発電所3,4号機建設予定地見学
（げんでんアドバイザー）

破砕帯調査現場見学
（げんでんネクサス）



敦賀発電所近況の説明
（げんでんネクサス）

※1：当社は、地域の皆さまの貴重なご意見を事業運営に活かしていく取組みを進めています。この取組みのひとつとして各種団体から選出いただいた方による「げんでんアドバイザー懇談会」を実施しています。

※2：当社は、嶺北地区の有識者の皆さまから当社の事業運営やエネルギー・原子力についてご意見を伺う「げんでんネクサス懇談会」を実施しています。

6. 主な報道発表（2021年11月1日以降）



◀こちらから当社ホームページをご覧ください

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。

| | |
|------------|--|
| 11月 25日 | 敦賀発電所1号機 第4回定期事業者検査の終了について |
| | 敦賀発電所1号機（沸騰水型軽水炉）は、2021年4月1日から第4回定期事業者検査を実施していましたが、11月24日に終了しましたのでお知らせします。 |